

KEIZAI RENDEN

情報1

● 2022. 1 ● NO.1288

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

特別企画 新春対談

松永大吾 経営管理委員会会長 東京青果株式会社 代表取締役 川田一光 社長



▲特別企画・新春対談

main topics

特別企画 新春対談01

松永大吾 経営管理委員会会長
東京青果株式会社 代表取締役 川田一光 社長

topics&news

県産花きをPR

県知事に花束を贈呈04

JA職員の提案力向上を

パイプハウス建て方を実習04

いちご生産者所得向上を

静岡いちご販売対策会議05

山梨県で県産品を販売

バイ・ふじのくに「つながる市」に出展05

コロナ終息を祈願し静コシを奉納

天下泰平祈願祭を草薙神社で開催05

「食通の静岡牛蒡」「特選和牛静岡そだち」

合同枝肉共励会を開催06

アフターコロナに備えた研修

静岡県農協葬祭事業連絡協議会研修会 ...06

日本一のお米が決定

第18回お米日本一コンテストinしずおか開催結果 ...06

子会社管理の徹底のため

令和3年度 第2回 子会社等経営会議06

営農だより

土壌のケイ酸診断の問題点07

静岡レタス「うまレタ。」の有利販売に向けて ...08

お知らせ

建設部からのお知らせ09

あぐりんく静岡からのお知らせ09

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介 ...10

JAタウンしずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介 ...10



▲県知事に花束を贈呈

特別企画
 ~新春対談~



東京青果株式会社
 代表取締役
川田 一光 社長

J A 静岡経済連
 経営管理委員会
松永 大吾 会長



❖ 県産農産物について
松永 本県産農産物は今がまさに最盛期で、今シーズンは大きな天候の被害もなく好天に恵まれ順調な生育となっております。市場の皆さまには例年以上に高品質な農産物をお届けできると思っています。本日は、本県産農産物の主

川田 私たちも、本来であれば産地に伺い、生産者の皆さまと直接お会いし農産物に対する想いを聞くことで、販売や営業により力が入るのですが、この2年ほどは、ウェブや電話でのやり取りしかできず、直接お会いすることの重要性を感じています。

松永 あけましておめでとうございます。川田 本誌の新春企画の対談として、本会パートナー市場を代表して東京青果(株)の川田一光社長にご出演いただき、誠にありがとうございます。よろしくお祈りします。
川田 よろしくお祈りします。
松永 コロナ禍でこれまで直接お会いすることが難しい状況でしたが、今回対談させていただくことができ嬉しく思います。

川田 「きらび香」は新しい品種ですね。「きらび香」の生産割合はどの位ですか?
いちご娘 「きらび香」は約15%、「紅ほっぺ」は約70%、「章姫」が約7%

川田 よろしくお祈りします。
いちご娘 静岡県産のいちごは主に「紅ほっぺ」と「きらび香」の2種類です。「紅ほっぺ」は一つ一つの粒が大きく、香りが良く果汁が多いのが特徴で、酸味とコクを楽しめる品種です。「きらび香」は本県のみ栽培されている品種で、宝石のようにきらきらとした輝きと上品な甘味、フルーティーな香り特徴です。



▲静岡いちごを紹介する「静岡いちご娘」の赤堀さん(左)と三田さん(右)



です。「きらび香」は平成29年に品種登録された新しい品種です。安定した収穫ができることから徐々に生産が増えてきています。これから最盛期を迎える静岡いちごを引き続きよろしくお願ひします。

❖ 市場について

松永 対談の前に東京青果㈱の川田光太専務と戸塚幹夫常務に場内の競売場や二層式の置き場などをご案内いただきました。

いちご娘 市場に来るのは初めてでしたので、セリを間近で見ることができたことが印象的でした。

川田 セリについてはご覧いただいた通り買い手が指で値段を示す独特の方法で行われ、価格決定はセリ人と買い手のあうんの呼吸でやり取りをしています。価格が急に上がったたり下がったりしたら、出荷する生産者さんもお不安になるし、仲卸や小売も困りますからセリでは相場を安定的に推移させるようになっています。

❖ 市場法改正について

松永 令和2年に改正された市場法についてお話を伺いたいと思います。

川田 令和2年に改正された市場法では、基本方針に即した共通の取引ルール（①売買取引の方法の公表、②差別的取扱いの禁止、③受託拒否の禁止、④代金決済ルールの策定・公表、⑤取引条件の公表、⑥取引結果の公表）は改正後においても全国一律に規定されていますが、第三者販売の禁止、直荷引きの禁止、商物一致などのその他の取引ルールについては各市場で決めるといふ内容です。大田市場は、商物分離（取引は産地と市場で行うが、出荷物は市場に持ち込まず買参人に直接輸送すること）が認められたこと以外は、今までと大きく変わった点はありません。

松永 商物分離での取り扱いはどうのくらいになっていますか。

川田 直送取引は20%を目標に今期取り組んでいます。今後はできれば50%くらいまで増やしていきたいと思っていますが、品目によって向き・不向きがあり、例えばいちごを10トトラック1台受け入れることができる納品先はほとんどないと思います。そうなるので、市場での積み替えが必要になる場合もあるため、直送取引の割合は簡単に増



▲東京青果㈱川田光太 専務取締役経営戦略室長（写真右）

やすことができないと思っています。

❖ J Aグループとの連携について

松永 令和3年8月にJ A全農と資本業務提携を締結されましたね。

川田 国産青果物の安定した取引の拡大に取り組み予約取引を進めるため、J A全農と業務提携しました。貴会には以前より株式を所有していただいております、ありがとうございます。

松永 今後とも引き続きよろしくお願ひします。

川田 私たち卸売市場は生産者の販売代理人で、仲卸・小売は消費者の購入代理人です。1円でも高く売りたい市場・生産者と1円でも安く買いたい仲卸と対峙し、市場の原理が働き価格が成り立っています。青果会社も高く売ることと利益につながるため、その点でも生産者と青果会社は利害が一致しており、私たちは販売代理人という立



▲東京青果㈱戸塚幹夫 常務取締役野菜事業本部長（写真左）

場で一貫しています。

松永 そう言っていただけると生産者・J Aとしても大変ありがたいです。

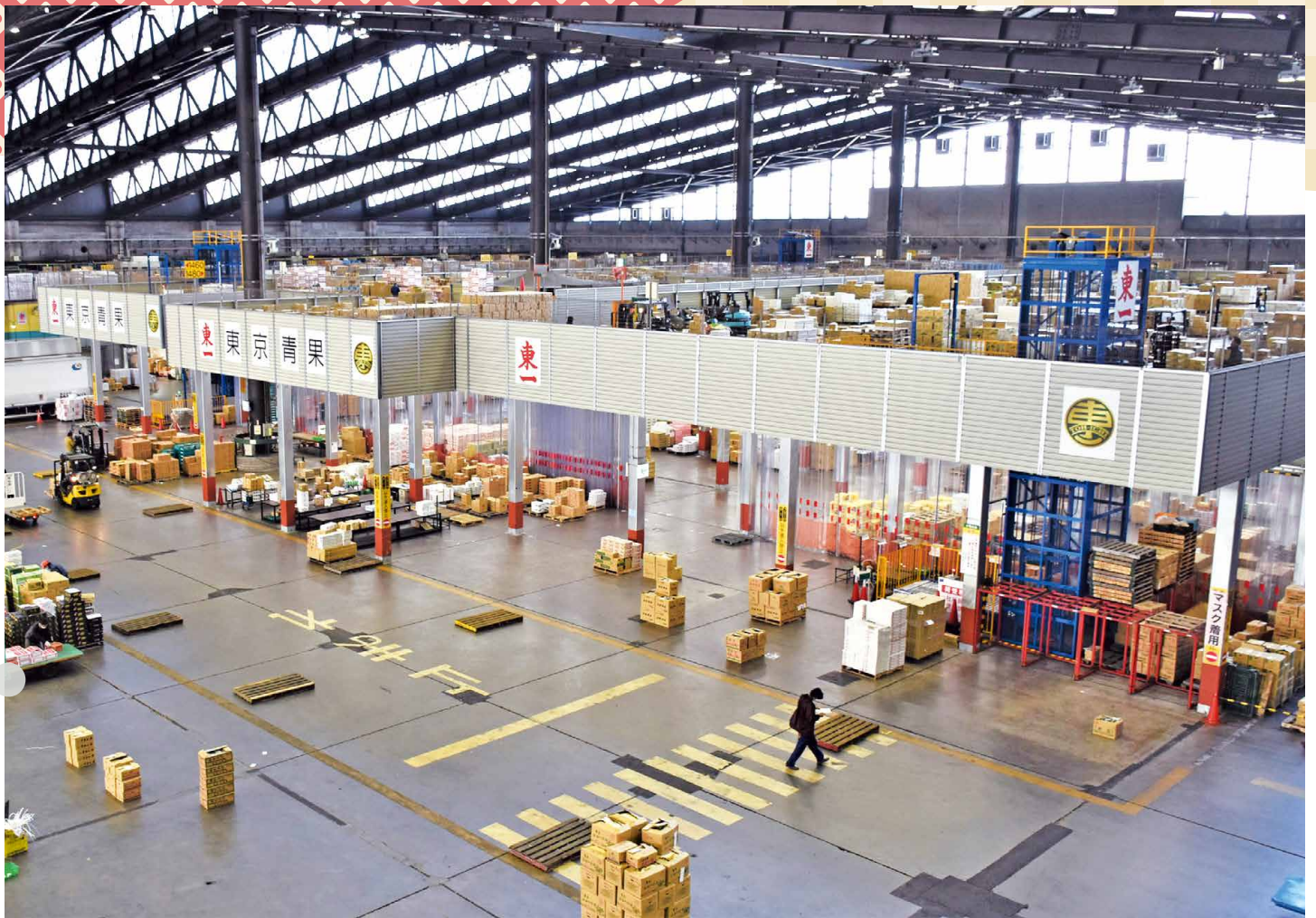
❖ 物流の課題について

松永 物流の課題について市場としてはどのように取り組まれているでしょうか。

川田 物流改革が急務となっていて、令和6年に長距離トラックドライバーの時間外労働の上限規則が適用されます。産地から市場に荷物を運び、場内で何時間も荷下ろしの順番待ちのために待機している現状を改善する必要があります。速やかな荷下ろしにはパレット輸送が必要となると考えています。ただ、一番のネックは多品目によるバラ積みの場合で、積載効率を上げるため、市場で仕分けてパレットに積み直す作業が発生するときもあります。すべての取引がパレット単位で行われれば物流はスムーズになりますが、現状では課題も多いです。

松永 パレットに関しては、本県では令和3年11月に稼働を開始したJ Aみっかびの新柑橘選果場で、流通業界の負担の軽減として業界標準サイズのプラスチックパレットを採用しました。またパレット積載を自動化し、トラック運転手の待機時間や作業時間の省略化にも取り組んでいます。

川田 レンタルパレットは、弊社でも取り組んでいます。パレットの紛失など管理について課題があると考えています。レンタルパレットに積載された荷物については、紛失事故を回避するため、市場でパレットの積み替えを行っています。（次頁に続く）



▲二層化されている東京青果株の置き場

松永 効率的な荷下ろしのための取組をされているとのことですが。

川田 弊社では800台ほどのトラックと契約し、事前に品目と数量のデータを配信する仕組みを始め、着荷場所と時間をトラックに指示し、効率的な納品となるようにしています。

松永 長時間、市場の周辺で待機する必要がなくなるということですね。

川田 そのとおりです。市場の周辺での待機ではなく、サービスエリアなどで休んでもらう仕組みを進めています。

松永 なるほど。ところで、先ほど場内で二層化された置き場を拝見しました。

川田 現在の大田市場となった平成元年に比べ、取扱数量は倍くらいになり荷物の置き場が狭くなってきました。そこで、東京都の許可を得て一部を二層化しました。今後は全面二層化となる予定です。置き場を広くすることも物流課題の解決につながると考えています。

❖ おわりに

松永 本日は貴重なお話を伺うことができ、本会としても大変参考になりました。今後も私たち産地と東京青果様をはじめとした卸売会社・消費地が協力し合い、課題の解決に取り組んでいきたいと思っています。また、この2年ほど続くコロナ禍による業務やインバウンド需要の低迷もしばらく続くことが予想されていますので、引き続き連携を取っていきたく思います。最後に川田社長からひと言、本県生産者の方へのメッセージをいただけますでしょうか。

川田 果物については、消費量は減っ

ていますが購買の単価は上がり、トータル消費額は増えていますので、果実の生産には力を入れていただければと思います。野菜については、相場の変動はありますが安心安全な国産品が中心です。日本の食文化は少量多種が基本であり、その点が静岡県のような多品目での生産は日本人の食生活に合っていると考えています。静岡県には、ぜひこれを維持していただき、食卓をにぎやかにしていただきたいと思います。そのためには、生産者の皆さんやJAグループの力が不可欠ですので、引き続きよろしく願っています。

松永 ご期待に応えられるよう努力していきます。本県JAグループとして、コロナ禍における新生活様式に即した消費拡大対策を着実に実践し、消費者の皆様にご喜ばれる静岡県産農産物を出荷できるよう努力して参りますので、引き続きご愛顧くださいますようお願いいたします。本日はありがとうございました。



県産花きをPR 県知事に花束を贈呈

11月19日、静岡県花卉園芸組合連合会（事務局：野菜花卉課）と花咲くしずおかフラワーネットワーク会議は、県産のばらやガーベラ、カーネーションなどの花束を川勝平太静岡県知事、難波喬司副知事に贈呈しました。11月22日の「いい夫婦の日」にちなみ、花き生産者と生花商組合などが連携し、県産花きの消費拡大をPRしました。

同連合会のばら部会永井和美部会長、カーネーション部会山田弘志部



会長、ガーベラ部会幸田実部会長と本会石川和弘常務理事が県庁を訪れ川勝知事らに花束を贈りました。

同連の生産者は「燃油の高騰が課題となっているが、少しずつイベントなどが実施されてきており花きの需要に答えられるよう生産していきたい」と話し、川勝知事は「花のある生活が当たり前になるよう、県としてもふじのくに『花の都しずおか』づくりを進めていく」と応えました。

JA職員の提案力向上を パイプハウス建て方を実習

11月19日、営農資材課は掛川市のJA遠州夢咲大坂支店で、パイプハウス講習会を開催し、同JAの購買担当職員ら約15人が参加しました。

講習会はトヨタネ(株)が講師となり、参加者はパイプハウスの建て方マニュアルや強風補強対策について座学で学んだ後、同市内圃場で部材やハウスの構造を確認、実際にパイプハウスを建てる実習を行いました。参加者らは、燃油高騰や異常気象に対して生産者に提案できる対策や、生



産者からのパイプハウス問い合わせに対する要望聞き取りのポイントなどについて講習を受けました。

営農資材課は「燃油高騰などに対応できるようにパイプハウスの知識を増やし、JA職員の提案力を高めていきたい」と話し、今後も同様の講習会を開いていく予定です。



いちご生産者所得向上を 静岡いちご販売対策会議

11月18日、静岡県いちご協議会(事務局・野菜花卉課)は、県農業会館で、静岡いちご販売対策会議と目揃会を開催しました。県や市場、JAの担当者ら約60人が参加し、本年度の出荷数量5千トン、販売金額67億5千万円を目標とすることを確認しました。農業所得の向上をめざし、本県いちごの主力販売先と生産者らが販売戦略を共有し、より強固なパートナーシップを築き、予約相対取引などを拡大させていくことを併せて確認しました。

同会議では、JA伊豆の国とJA遠州夢咲の担当者から現在のいちご生育状況を、首都圏と県内の市場担



▲挨拶をする静岡県いちご協議会飯田寿夫会長

当者から各消費地の動向などを報告しました。目揃会では、本格出荷の前に生産者やJA担当者らと出荷基準を確認しました。

昨年度に引き続きコロナ禍で、「新たな生活スタイルに合わせた販売戦略の実践」として、動画などを活用した定期的な産地情報の提供やウェブを活用した販売などに取り組みます。消費宣伝事業では、昨年引き続きタレントの池田美優(みちよ)さんを起用。ポスターなどの販促資材をはじめ、メッセージ動画を制作し動画投稿サイトなどを通じて配信する予定です。



▲目揃会で出荷基準を確認する担当者

山梨県で県産品を販売 「つながる市」に出展

11月20日、みかん園芸部と営業部は、山梨県南巨磨郡富士川町の「道の駅富士川」で山梨県主催(協力:静岡県)の「バイ・ふじのくに」『つながる市』in道の駅富士川』に出展しました。両県では、昨年度より新型コロナウイルスの影響を受けた農産物などを互いに購入し支えあう「バイ・ふじのくに」の取組を進め、その一環としてマルシェを開催しており、本会がブースを出展しました(山梨物産展は、10月23日、24日に静岡市で開催)。

マルシェでは、レタス、トマト、わさび、早生みかんなどを販売。天候にも恵まれ多くの利用客がブースを訪れ販売した商品はほぼ完売となりました。



コロナ終息を祈願し静岡コシを奉納 天下泰平祈願祭を 草薙神社で開催

11月23日、食糧部は、静岡市清水区の草薙神社で令和3年度天下泰平祈願祭を開きました。祈願祭は新型コロナウイルスウイルス感染症の終息とともに泰平な世となることを願い、執り行われ、静岡県産コシヒカリを奉納しました。ご祈祷されたお米は撒餼(てっせん)米として、本会直営店「駿府の肉処 静岡そだち」で提供され、2合袋として販売されました。



「食通の静岡牛葵」特選和牛静岡そだち 合同枝肉共励会を開催

11月15日、「食通の静岡牛葵」協議会と、「特選和牛静岡そだち」認定農場の会は、浜松市東区の浜松食肉市場で、第19回「食通の静岡牛葵」第30回「特選和牛静岡そだち」合同枝肉共励会を開きました。生産者や本会の職員ら25人が出席しました。交雑種の「葵」は12点、黒毛和種雌の「静岡そだち」は23点出品がありました。

両銘柄とも、本会が認定した県内農場で、専用飼料と飼育管理マニュアルに基づき生産しています。

審査した日本食肉格付協会東海北陸支所浜松事業所の石川悠末所長は「共励会にそなえ入念に肥育管理されてきた生産者の努力に敬意を表したい。選りすぐりの枝肉が集まり、肥育技術の向上とブランド強化に取り組まれ良い牛がそろった」と講評しました。

上位入賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内はJ A名）

食通の静岡牛葵

- ・最優秀賞 大塚一司（J Aハイナン）
 - ・優秀賞 石部源次（J A大井川）
 - ・優秀賞 峯野 忍（J Aとびあ浜松）
- 特選和牛静岡そだち**
- ・最優秀賞 森 清馬（J Aとびあ浜松）
 - ・優秀賞 野島泰雄（J A遠州中央）

経済連委託肥育農家 長田和三

アフターコロナに備えた研修 静岡県農協葬祭事業 連絡協議会研修会

11月26日、静岡県農協葬祭事業連絡協議会（事務局・生活葬祭課）は、県農業会館で「令和3年度静岡農協葬祭事業連絡協議会研修会」を開き、会員J AとJ A子会社の担当者ら31人が参加しました。

講師は、(株)マーケティング・オフイス小野田正美代表取締役を招き、「アフターコロナに備えて『今やるべきこと』」をテーマに講演しました。参加者らは、コロナ禍が葬祭事業に与えた影響とコロナ後の事業改善策について確認。事前相談の取組強化やオンライン対応、コロナ後の新戦略構築などについて講習を受けました。



日本一のお米が決定 第18回お米日本一コンテスト stinしずおか開催結果

12月4日、お米日本一コンテスト実行委員会（事務局・県農芸云振興課）は「第18回お米日本一コンテストinしずおか」の最終審査を静岡市駿河区のグランシップで開催し、J A御殿場部農会岩田英徳さんのコシヒカリが最高金賞と静岡県知事賞を受賞しました。

同コンテストはお米、ごはんを中心とした和食文化の推進と良食味米の産地育成、消費拡大を目的に平成16年から毎年開催されています。最終審査では、全国33道府県から出品された439点のうち食味評価機器審査を通過した75点について、審査員15人が食味官能審査を実施しました。

上位入賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内は道府県名・品種名）

実行委員会会長賞・特別最高金賞

- ・(株)みつわ農園（岐阜県・コシヒカリ）
- ・J A御殿場部農会岩田英徳（静岡県・コシヒカリ）

最高金賞

- ・J A御殿場部農会岩田英徳（静岡県・コシヒカリ）
- ・J A常陸ななかいの里生産研究部会 盛田守（茨城県・コシヒカリ）
- ・J A常陸ななかいの里生産研究部会 古滝初男（茨城県・コシヒカリ）
- ・渡邊信太郎（山形県・ゆうだい21）
- ・(株)まつえんどん（新潟県・コシヒカリ）

子会社管理の徹底のため 令和3年度第2回 子会社等経営会議

11月16日、企画管理部は、県農業会館で、「令和3年度第2回子会社等経営会議」を開き、寺田国彦代表理事専務と本会子会社・関連会社8社（静岡ローディング(株)、静岡県車輜サービス(株)、静岡県フィッシュミール(株)、ジェイエイ静岡燃料サービス(株)、浜松食肉加工(株)、(株)静岡県農協電算センター、(株)農協葬祭、(株)静岡ライス）の役員、本会顧問税理士、本会担当部課長ら20人が出席しました。

会議では本会からの情勢連絡の後、各社から令和3年度上期決算について報告しました。本会の報告事項では、インボイス制度の概要や東部地区J A合併などについて説明を行います。



営農支援だより

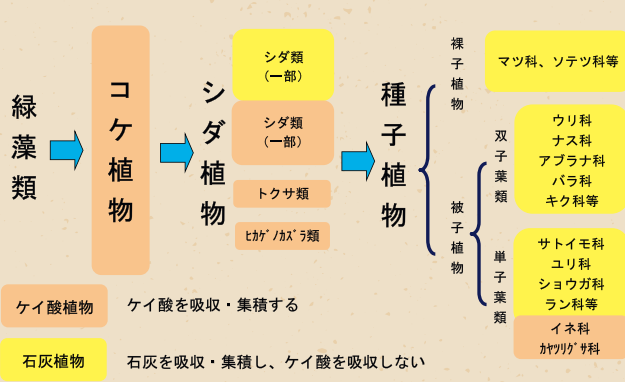
～ 作物・産地・営農・技術・資材などの情報をお届けします ～



土壌のケイ酸診断の問題点

ケイ素は必須要素ではなく、特定の作物の有用元素

ケイ酸（ケイ素）は、窒素、リン酸、カリウム、カルシウム、マグネシウムのような、植物の生育に不可欠な『必須要素』ではありません。しかし、イネ等の特定の作物に限り生産に有益な働きをするため、『有用元素』と呼ばれます（写真1）。



石灰植物とケイ酸植物
植物は細胞壁を強化して虫害や病害を防ぐために、石灰（カルシウム）

を集積する『石灰植物』とケイ酸を集積する『ケイ酸植物』に、進化の過程で分化しています（図1）。

コケ植物やシダ植物の大半はケイ酸植物ですが、種子植物へ進化する過程でケイ酸の吸収・集積性を失っています。従って、裸子植物や被子植物の大半は石灰植物ですが、イネ科等が再びケイ酸植物になっています。これは昆虫の食害の多い環境で進化したためと考えられます。

土壌のケイ酸診断の対象は、このケイ酸植物です。石灰植物はケイ酸をほとんど吸収しないので、ケイ酸の土壌分析の必要はありません。

地質等によるケイ酸供給の違い

ケイ酸は岩石や土壌の主要成分ですが、作物が吸収する有効態ケイ酸はごく一部分です。天然供給量は地質や土壌の影響を強く受けます。

静岡県東部のような火山噴出物の多い地域は、農業用水のケイ酸濃度が高く土壌も有効態ケイ酸に富んでいます。これに対し静岡県中西部のような堆積岩や深成岩の多い地域は、用水のケイ酸も土壌の有効態ケイ酸も少ない傾向にあります。

ダムで減るケイ酸やカリウム

最近、ダム湖やダム下流の河川から採水している農業用水等で、ケイ酸やカリウムの濃度低下が指摘され

ています。ダム湖底へのケイ酸等の沈殿が懸念され、該当する用水を利用している水田では、用水や土壌のケイ酸等の診断に基づき適正施肥が重要になります（写真2）。

（土壌肥料分析センター 技術コンサルタント 高橋和彦）



写真1 ケイ酸植物のイネ

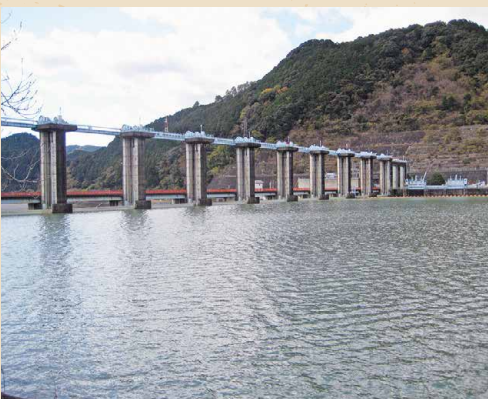


写真2 農業用水源のダム湖

静岡レタス「うまレタ。」の有利販売に向けて

レタスの収穫（出荷）予測

静岡県では、秋から春にかけてレタスが県内全域で生産され、京浜地区を中心に出荷されています。特に出荷ピークとなる12月から1月は、東京都中央卸売市場のシェア全国1位を誇り、京浜地区における冬レタスの主要産地となっています。

レタス販売では、安定的・計画的に出荷することに加え、事前に出荷時期や出荷量、出荷ピーク等の情報を市場関係者に提供することが、販売上とても大切になってきます。

JA静岡経済連 販売情報センター No.6											
～静岡レタス産地情報～											
■今年状況											
産地	出荷量	出荷日					単位:ケース10kg換算				
		A 3L	A 2L	A L	A M	A S	〇2L	〇L	〇M	〇他	
JA三島南	332	58	166	87	5	7	9				
JAおおいがわ	4,409	319	1,358	526	80	7	1,056	570	124	369	
JAハイナン	5,084	840	1,356	541	110	1	747	504	99	886	
JA掛川市	257	31	74	23	1		56	54	13	5	
JA遠州夢咲	1,370	60	372	337	64	1	115	188	46	187	
JA遠州中央	3,229	664	1,335	478	172	34	213	120	65	148	
6JA合計	14,681	1,972	4,661	1,992	432	43	2,194	1,445	347	1,595	
	発生率	13%	32%	14%	3%	0%	15%	10%	2%	11%	

■前年同期状況											
産地	出荷量	出荷日					単位:ケース10kg換算 (JA三島南は5kg)				
		A 3L	A 2L	A L	A M	A S	〇2L	〇L	〇M	〇他	
JA三島南	519	3	130	308	49		8	18	3		
JAおおいがわ	2,989	100	365	294	72	4	789	691	140	534	
JAハイナン	2,368	271	298	124	29	1	516	302	65	762	
JA掛川市	210	17	41	14	2		63	46	3	24	
JA遠州夢咲	1,574	103	321	178	17	1	299	269	47	339	
JA遠州中央	3,635	651	962	356	103	25	697	279	49	513	
6JA合計	11,036	1,144	2,052	1,120	248	31	2,368	1,596	306	2,172	
	発生率	10%	19%	10%	2%	0%	21%	14%	3%	20%	

■県内主要産地出荷予定											
産地	出荷日			出荷物の定植日	備考						
	12/12週	12/19週	12/26週								
JA三島南	200	200	200	10月中旬 下旬	・玉が軽くなりすぎないよう収穫時期を調整中(査定会の指摘を踏まえて) ・防寒作業は70%ほどが終了。 ・12月は大きく数値ふれずに出荷できそう。						
JAおおいがわ	2,500 ～ 3,500	3,800 ～ 4,300	3,500 ～ 3,800	10月12日 頃	・12月週は防寒作業が本格化。風の多い日の翌日に減ること。 ・刈り入れは10月17日、18日定植のものが出てきて数量増加見込み。 ・年末は10月21日、22日頃のものが中心見込み。 ・増産は2L中心。年末は少し移行する可能性あり。 ・病害は見られないが、冷え込み具合で被害の恐れあり。						
JAハイナン	3,000 ～ 4,000	3,000 ～ 4,000	3,000 ～ 4,000	10月11日 ～15日 頃	・2L中心の出荷(3L20%、2L46%、L28%) ・10月18日以降定植の圃場の生育が落ち着いており、未週以降発生懸念が ・必要期に多く出荷できるよう呼び掛けていく。						
JA掛川市	200～ 300	200～ 350	250～ 400	10月中旬 頃	2L中心の出荷が確く						
JA遠州夢咲	1,200 ～ 1,500	1,500 ～ 1,800	1,700	10月12日 頃	・生育順調で、2L中心の出荷が確く。 ・今週前半は収穫作業のため出荷量は少なめの見込み。						
JA遠州中央	2,500 ～ 3,000	2,500 ～ 3,000	2,000	10月16日 頃	・先週の雨で若干重さが出て3Lが増えた。 ・出荷数量のペースは変わらず。 ・防寒作業も順調に進み、病害虫は少ない。 ・水曜日、金曜日の出荷はやや少ない。						
6JA合計	9,600 ～ 12,500	11,200 ～ 13,650	10,650 ～ 13,100								

うまレタ。の発信

これまでも生産者や各JA担当者の長年の経験などから情報提供を行ってききました。しかし近年の異常気象等の影響により、これまでの経験等に基づく収穫予測が難しくなり、新たな対応が必要となってきております。

そんな中、静岡県農林技術研究所や国との共同研究により、日平均気温の積算値（積算気温）とレタスの生育（葉枚数の増加）の関係性が高いことがわかり、定植日と日平均気温から収穫時期を精度高く予測することが可能になりました。

これを受け、平成29年度より、本会と静岡県レタス協議会の共同の取

組みとして、より正確な出荷情報提供を目的として積算気温に基づくレタス収穫予測の取組みを開始しました。

収穫予測は、国や県が開発した生育予測式に、日別の定植面積と日平均気温を入力することで算出される仕組みです。

本会が県内JAと連携して実施している日単位の定植面積調査のデータと、農研機構の提供するメッシュ気象データや圃場実測温度データを用いて収穫時期予測値を算出しています。

得られたデータは『うまレタ。』として市場関係者に毎週発信を行っています。

課題と今年度の取組み

現在の課題として、まず厳寒期の予測精度が高くないことが挙げられます。原因として、本県のレタス栽培では厳寒期にトンネル被覆を行うことから、トンネル内温度の予測が困難であるためです。次に県内各産地の気温等の違いによる生育の差も課題になっています。加えて、レタスの収穫予測情報を本会やJA、生産者など関係機関でリアルタイムに情報共有できる仕組みづくりが求められています。

今年度はそれらを解決する手段として、各JAの圃場への環境モニタリング機器の設置による実情に即した温度情報の取得、実需者（JA、生産者）が利用しやすい生育予測システムの開発などが行われています。令和3年度においても収穫時期予測の取組を継続して実施し、収穫予測の精度向上を図るとともに農林技術研究所と連携して、利用しやすい生育予測システムの構築に努めています。

この内容が、静岡レタス「うまレタ。」の有利販売につながるよう取組んでまいります。

(野菜花卉課 係長 名越勇樹)

▲うまレタ。



▲レタス(モニタリング機器設置)

建設部からのお知らせ

information

伊豆太陽農業協同組合

担当 建設部 054-284-9523

伊豆太陽地区の新拠点整備

伊豆太陽地区本部・下田支店建設工事 起工式



▲建物完成予想図

12月7日、JA伊豆太陽は、伊豆太陽地区本部・下田支店建設工事の起工式を行いました。

神事は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行ない、櫻井雄司代表理事組合長をはじめ、最小限の出席者により厳粛に執り行われました。

現在の本店・下田支店は、長年にわたり地域に親しまれてきましたが、施設の老朽化にともない、同敷地に建替えることになりました。

新しい施設は、現在の本店・下田支店の敷地東側の職員駐車場敷地に建設し、下田支店と東部地区JA合併後の地区本部機能を併設した建物となり、令和4年秋に完成予定です。

新しい施設のオープン後、現在の本店・下田支店の解体工事を実施し、解体跡地に駐車場整備を予定しています。

設計監理は、静岡県経済連一級建築士事務所が行なっています。



式典の様子▶

【 営農ナビ 】

文字が大きく見やすくなってリニューアルしました!

あぐりんく静岡 からののお知らせ

県内JA限定

生産・事業推進に役立つ情報が満載!!

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー(手順)を掲載しています。分析の際はコチラから!

経済連肥薬通信

更新

経済連肥薬通信1月号

経済連コンサルタントによる技術情報

産地情報

トマト、レタス、いちごの産地から出荷状況をお知らせしています。

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課 (TEL 054-284-9729)

「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介

担当:食糧部 食糧課(TEL:054-284-9737)

静岡県産米麦流通連絡協議会(事務局:食糧部)は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」(テレビ静岡・全11回放送)に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和3年度の第8回目(2021年12月18日)の放送では、お笑い芸人のオードリー・春日さんが静岡県産「にこまる」を紹介しました。番組ではJAとびあ浜松の生産者からのメッセージを紹介し県産米のPRを行いました。「にこまる」は、ふっくら・もちもちとした食感が特徴で、令和2年産静岡県西部地区の「にこまる」は日本穀物検定協会が行う米食味ランキングで3年連続となる最高ランクの特Aを受賞しています。番組では、「特選和牛静岡そだち」も紹介し、春日さんは浜松市内の牛舎を訪ね生産者の作業を体験し、「にこまる」と一緒に「特選和牛静岡そだち」を試食しPRしました。

今回の「しずおかごはんが食べたい!」は、熱海市からフォーリンラブ・バービーさんが「あいちのかおり」を紹介します。放送予定は1月15日(土)の夕方5時となっておりますので、ぜひご覧ください!



JAタウンしずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介

今月のおすすめ商品をご紹介します!

JA御殿場「紅はるかの干し芋」 5袋セット



4,380円(送料・税込)

【セット内容】

1袋180g×5袋

【商品紹介】

御殿場市・小山町で作られた「紅はるか」を使用したJA御殿場さつまいも加工品生産組合手作り干し芋。管内に吹く冷涼な“富士おろし”が干し芋づくりに適し、しっとり柔らかく半生タイプに仕上がります。

干し芋は栄養価が高いたけでなく、着色料や保存料など使用していない安全安心の冬のスイーツ。どの年代の方にも美味しく召し上がっていただけ、一口食べれば上品な甘さが口いっぱいに広がります。

【美味しさへのこだわり】

富士山のふもとでのサツマイモ作りの秘密は…

- 土** 富士山の裾野の火山灰土壌は、サツマイモ作りに最適。
- 気候** 冷涼な気候であることから、甘みを作る素となるでんぷんが増えやすくなります。
- 風** 干し芋を作る際、富士山からの“富士おろし”に当てることで、干し芋をさらに甘く、綺麗に仕上げます。
- 甘さ** 収穫したサツマイモを貯蔵・熟成させることで、でんぷんが糖に変わり甘みが増します。
- 管理** サツマイモの味を均一にするため土壌分析を行い、肥料等それぞれのほ場に適した細やかな管理を行っています。



しずおか手しお屋 🔍 検索

◀商品ページはこちら

※販売時期や価格は変更する場合があります

担当:営業部 流通開発課

(TEL:054-284-9728)

県下JAグループ統一企画

地域・組合員の皆様へ



JA-SS 笑顔満タン! あったか灯油キャンペーン

実施期間 (レシート有効期間) 2021年11月1日月 ▶ 2022年1月31日月

JA-SSで灯油をご購入のお客様に

毎回90名 合計180名様

おいしいものが合計180名様 毎回90名様×2回 に当たる!!

チャンスは
2回!!

2021年11月1日(月)～2022年1月31日(月)に、静岡県下JA-SSで灯油36ℓ以上をご購入していただいたレシートを1口とし、ご応募いただくと、抽選で素敵な賞品が当たります。*一部実施していないJA-SSがあります。



牛コース

合計60名様

静岡そだち

(肩ロースすきやき用400g)
毎回30名様×2回



豚コース

合計60名様

金豚王

(肩ロースしゃぶしゃぶ用600g)
毎回30名様×2回



魚コース

合計60名様

金目鯛 煮つけセット

毎回30名様×2回

キャンペーン期間 (レシート有効期間)

2021年 11月1日月 ▶ 2022年 1月31日月

応募締切日
(事務局到着分)

第1回: 2022年 1月7日(金)
第1回は終了しました。
第2回: 2022年 2月7日(月)

スマートフォン
からのご応募は
こちらへ。



*写真はイメージです。 *プレゼントは、景品表示法に基づき、実施致します。

担当: 暮らし支援部 総合エネルギー課 (TEL:054-284-9529)

